

リニューアル記念展

# voice- over

ボイス  
オーバー  
回って遊ぶ声

ゲストアーティスト:

田村友一郎 TAMURA Yuichiro

中尾美園 NAKAO Mien

ドットアーキテクト dot architects

2021.9.18<sup>±</sup>-11.14日

開館時間:9:30-17:00(入館は16:30まで)

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)

会場:滋賀県立美術館 展示室1-3、ギャラリー

※会期中に一部入れ替えがあります。



イケムラレイコ《思考》1985年 | 滋賀県立美術館 | ©Leiko Ikemura and VG Bild-Kunst 2021

Shiga Museum of Art

滋賀県立美術館

本展は滋賀県立美術館のコレクション約1800件から選りすぐった作品100点以上を、ジャンルや年代の別なく紹介する、回遊式的美術館を舞台にした展覧会です。

作品をよく見ることは、作品の「声」を聞くことと似ています。その声に耳を澄ますと、思いもよらない作品同士の繋がりが聞こえてくるかもしれません。例えば日付が淡々と描かれた絵画と、とげのある生き物のような陶の作品。室町時代の近江の風景と、オセアニアの楽園。このように、これまで当館では同じ部屋で展示されることがほとんどなかった4分野のコレクション——日本画、郷土美術、現代美術、アール・ブリュット——を、今回は「声」を聞くことで結んでいきます。さらに本展に招いた3組のゲストアーティストは、声の聞き方はそれぞれであることを力強く示してくれます。アンディ・ウォーホルを独自の解釈で掘く田村友一郎(1977-)。小倉遊亀を題材に作品が残ること/残すことの意味を問かける中尾美園(1980-)。休館中の学芸員たちの活動記録をベースに美術館の意外な景色を提示するドットアーキテクト。彼ら自身の声もまた、美術館の中に木霊することでしょう。

ボイスオーバーとは、映画などの画面に現れない話者の声を、あるいは元の音声言語に翻訳したもう1つの音声を重ねるナレーションの手法を指す言葉です。こうした声の重ね方は、作品を長く保存し展示する過程で少しずつ新しい意味を見つけて加えていく、美術館の役割そのものともリンクします。美術館とは、作品とそれを見る私たちの声が変わり、調和するのではなく、むしろ鳴り響く場所です。この展覧会が、作品とみなさんの「声」とに満たされる豊かな雑踏になりますように。

#### アーティストトーク「ボイスオーバーのラジオ」

2021年9月25日[土]14:00-15:30 ※要事前予約

ゲストアーティスト3組とデザイナー、担当学芸員が展覧会についてお話しします。(音声配信も予定しています)

その他にも、作家によるワークショップや講演会など、様々なイベントを開催します。最新情報や詳細は当館HPでご確認ください。



左上: アーシル・ゴークー《無題[バージニア風景]》| 1943-44年頃  
滋賀県立美術館

左下: 小倉遊亀《月》| 1965年 | 滋賀県立美術館

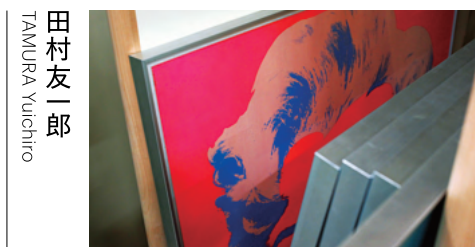
右上: 重要文化財《不動明王二童子立像》| 鎌倉時代(13世紀) | 玉蓮院

右下: 澤田真一《無題》| 制作年不詳 | 滋賀県立美術館

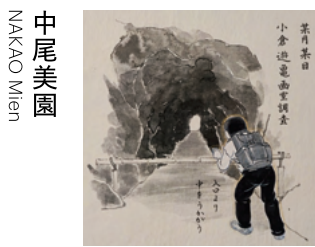
# voice-over

## ボイスオーバー 回って遊ぶ声

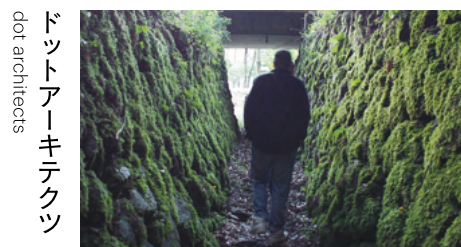
全館を使ったコレクションによる企画展、近現代美術・日本画・工芸など100点以上



1977年富山県生まれ、京都市在住。既存のイメージやオブジェクトを起点に、飛躍や連想を重ね、時空を超えた複層的な物語や景色をたちあげていく。



1980年大阪府生まれ、京都市在住。対象を丹念に「うつす」ことで、ものに内在する時間や歴史の層を汲み取り、伝統や慣習を伝え残すことをテーマに作品を発表している。



2004年に設立、大阪・コーポ北加賀屋を拠点に活動。設計、施工のプロセスにおいて専門家・非専門家に関わらず様々な人との協働を実践している。

#### 来館時のご案内

新型コロナウイルス感染症対策として、来館される折には下記

のお願いをしておりますのでご協力お願いいたします。

・美術館入口での手指消毒および体温測定

・館内でのマスク着用

※新型コロナウイルス感染症の影響により会期・時間等が

変更になる場合があります。当館HP等でご確認ください。

#### 問い合わせ先

〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1

tel 077-543-2111 | fax 077-543-2170

Shiga Museum of Art  
滋賀県立美術館

観覧料: 一般 1200円(1000円) / 高・大生 800円(600円) / 小・中生 600円(450円)

※( )内は20名以上の団体料金 | ※身体障害者手帳等をお持ちの方は無料

主催: 滋賀県立美術館 | 協力: 京都市立芸術大学

企画: 渡辺亜由美(滋賀県立美術館 学芸員) | グラフィックデザイン: 塩谷啓悟

#### アクセス

◎公共交通機関をご利用の場合

JR琵琶湖線(東海道本線)「瀬田駅」(京都駅から普通電車で約17分)

下車、バス「滋賀医大」行にて「文化ゾーン前」下車、徒歩約5分

◎お車をご利用の場合

名神・新名神高速「草津田上インター」から約5分

※なるべく公共交通機関をご利用ください。

※お身体の不自由な方は、びわこ文化公園東駐車場の

有人ゲートからお車を乗り入れて、美術館前まで

お越しいただけます。

www.shigamuseum.jp

